

Monthly

Yamagata West Rotary Club 2025-2026
国際ロータリー第2800地区 山形西ロータリークラブ



REPORT

11

December 2025

よいことのために
手を取りあおう



ロータリー月間テーマ
ロータリー財団月間

第3067回例会
「地区大会」

第3068回例会
「通常例会」

2025-2026年度 : 会長_五十嵐信 / 幹事_武田秀和
会報委員会 : 委員長_佐藤淳 / 副委員長_芦野茂 / 高橋順弘 / 小野裕史 / 長澤純

12月を振り返って



五十嵐信会長

霜月 霜が降りる頃という意味に由来するとも言われます
また、出雲大社に集われていた神々がそれぞれの地へお戻り
になることから「神帰月」とも呼ばれるとか。先日、初孫の七
五三で西宮の越木岩神社に参拝し、お祓いを受けてまいりま
した。この季節に七五三が行われるのも、こうした節目と関
係があるのかもしれませんが。今月のロータリーは、通常例会
が一回、地区大会の移動例会が一回。例会数は少なめでし
たが、その分、思索と学びの多い月でありました。講師例会
には、味の素株式会社の常務取締役を務められ、その後、
味の素とアクセンチュアの合同会社によるシンクタンクの代表
として活躍された吉宮由真さんをお迎えしました。
味の素時代には、国連からの依頼を受け、日本における
SDGs推進の牽引役として尽
力され、さらに近年はダノン、ネスレ、味の素など世界的大
手食品企業の共通プラッ
ト
フォーム構築にも携わられた方です。

今回の卓話では、味の素のアジア展開、とりわけベトナム市
場における最初の一步からの戦略についてお話しいただきま
した。

大きな構想を語る方ほど、足元を見つめることの大切さを説
かれていますが、まさにその通りの内容で、あっという間の三十
分でした。

続きは、また別の機会に伺いたいものです。

そして、地区大会。開催の意義や形式について様々な議論
もある中で、例年通りの形で実施されました。
準備にあられた皆さまのご努力には敬意を表したいと思ひ
ます。

一方で、これからの時代において、地区大会やIMといったイ
ベントの在り方をどのように進化させていくべきか。

その問いを私たち自身が持つことも、また大切なのではない
かと感じた次第です。来年は山形クラブがホストとなります。
きっと素晴らしい大会を創り上げることでしょう。

だからこそ、その次、そのまた先をどう描くか。

未来志向で考えることが、今を担う私たちの責任なのかもしれ
ません。

・第3068回例会 会長挨拶

幹事報告



武田秀和幹事

・新入会員紹介：野村證券

山形支店長

二瓶正人氏

・今月のロータリーレート：154円

・金沢西クラブより能登のお菓子寄贈

委員会報告

プログラム委員会 佐藤委員長



プログラム委員会：
アンケート集計結果の共有、宅馬車事前アンケート導入予定

米山奨学委員会 大場委員長



米山奨学委員会：
寄付協力をお願い（1万円以上）



「持続可能な成長への取り組み ～SDGsの視点から～」 味の素株式会社 元常務執行役員・吉宮由真氏

■ はじめに

吉宮氏は山形県村山市のご出身で、味の素株式会社にて長年海外事業を統括し、特にASEAN地域での食品事業拡大に尽力された。今回は、企業が社会課題の解決と事業成長を同時に実現する「CSV (Creating Shared Value)」の観点から、ASEANでの取り組みを中心に講話が行われた

■ 味の素グループの海外展開とASEANの重要性

味の素グループの売上は約1兆5,000億円。そのうち1兆円が海外売上であり、ASEANは最大の柱となっている。同社は世界117カ所に生産拠点を持つが、そのうち77拠点がアジア地域に集中している。

ASEANでの事業展開は、まず「味の素 (うま味調味料)」で市場基盤を築き、次に「ほんだし」「メニュー用調味料」、さらに「コーヒー」「冷凍食品」へと段階的に広げる“加工度の階段”戦略を採用している。

■ 現地最適化の3原則

ASEAN市場で成功するために、味の素グループが徹底してきたのが次の3点である。

1. 誰でも買える価格設定 インドネシアでは5円相当の小袋を販売し、まず「手に取れる価格」を実現。
 2. どこでも買える流通網の構築 青空市場から道端の露店まで、一軒も飛ばさず営業するという徹底した市場開拓を実施。
 3. 現地の人が使しやすい形状・容量 料理文化に合わせたパッケージや味づくりを行い、生活に自然に溶け込む商品を目指した。
- この積み重ねにより、ASEAN各国で味の素ブランドは圧倒的なシェアを維持している。

■ ベトナム「学校給食プロジェクト」

講話の中心となったのが、味の素がベトナムで推進する学校給食改善プロジェクトである。

ベトナムでは、

- 農村部の低栄養
- 都市部の肥満 という“二重の栄養課題”が存在していた。

味の素はこれに対し、

- 栄養バランスを自動計算する献立ソフトの無償提供
- モデルキッチンを設置
- 栄養士養成 (ハノイ医科大学に4年制コース新設) など、行政・大学・学校と連携した包括的な支援を実施。

現在、全国1万4,000校のうち4,367校が導入し、子どもの栄養改善に大きく寄与している。

これは、「社会価値 (栄養改善)」と「経済価値 (調味料使用の増加)」を同時に生むCSVの成功例として高く評価されている。

■ 国内での取り組み

日本国内でも、

- 野菜摂取量の不足
- 塩分過剰摂取といった課題に対し、「うま味」を活かした減塩提案や野菜摂取促進を推進している。

■ おわりに

吉宮氏は講話の最後に、味の素グループが大切にしている言葉として「答えはすべて現場にある (The answer is on site)」を紹介した。

現地の生活者を深く理解し、行政・教育機関・地域社会と協働しながら価値を創り出すことが、企業の持続的成長につながると強調された。



地区大会

11月8日から9日にかけて、国際RI第2800地区の地区大会が寒河江市文化センターを主会場として盛大に開催されました。山形西ロータリークラブからは、会員総数の40%を超える41名が参加し、活気あふれる交流の場となりました。大会では全体会議や分科会が行われ、各クラブの取り組み紹介や意見交換が活発に行われました。記念講演では「あなたの心臓大丈夫？ 狭心症、心筋梗塞、弁膜症そして心不全」をテーマに、山形大学医学部内科第一講座 教授 渡部昌文さんが登壇し、最新の医療知識や心臓病予防の大切さについて分かりやすく共有してくださいました。



新入会員紹介



二瓶 匡人 会員 [写真左手]

会社名 野村証券株式会社
役職 山形支店長

この度、山形西ロータリークラブに入会できたことを大変光栄に感じてます。歴史と伝統あるクラブの「地域と世界に良いことをする」という基本方針に深く共感し、微力ながら貢献していきたいです。ロータリーは初めての経験であり、不慣れな点も多いが、会員の皆様から学びながら成長し、クラブの一員として役割を果たしていきたいです。最後に、今後のご指導とご鞭撻をお願いします。

クラブ会報アーカイブは
こちらのQRコードからご覧ください



山形西ロータリークラブ事務局

山形市十日町1丁目1-26 歌懸稻荷神社

info-ywest@ywrc.jp